

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030613902

病院施設番号：030613

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

臨床研修病院群番号：0306137

臨床研修病院群名：岡山済生会総合病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	岡山済生会総合病院卒後臨床研修プログラム 2022				
2. 研修プログラムの特色	<p>1) 選択科目は院内全科を対象とした8か月間とし、できるだけ研修医の希望を取り入れやすいようにしている。したがって内科と外科あるいは整形外科など外科系と内科系の科を複数選択することも可能である。</p> <p>2) 当院は救急医療を重視し多くの科で積極的に対応しているため、救急医療の研修については、救急科のローテイト以外にも各科で多数の症例を経験できる。</p>				
3. 臨床研修の目標の概要	<p>医師として的人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する負傷または疾病に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度、技能、知識）を身につける。</p>				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院	24週	0週
	救急部門	030613	岡山済生会総合病院	12週	
	地域医療	060035 040035 031889 060036 034657 034515 031894 040032 070042 031911 0210588	美作市立大原病院 真庭市国民健康保険湯原温泉病院 備前市国民健康保険市立備前病院 済生会吉備病院 鏡野町国民健康保険病院 哲西町診療所 医療法人清梁会高梁中央病院 岡村一心堂病院 矢掛町国民健康保険病院 金田病院 岩手県済生会岩泉病院	4週	在宅診療1週
	外科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院	4週	0週
	小児科	030613 031881 189014	岡山済生会総合病院 旭川荘療育・医療センター 岡山済生会外来センター病院	4週	0週
	産婦人科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院	4週	0週

精神科	030613	岡山済生会総合病院	4週	0週
	030618	岡山県精神科医療センター		
	030619	岡山大学病院		
	031892	河田病院		
	034656	岡山県精神保健福祉センター		
189014	岡山済生会外来センター病院			
一般外来	030613	岡山済生会総合病院	4週	
	189014	岡山済生会外来センター病院		

病院で 定めた 必修 科目	オリエンテー ション	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院	1週	0週
	外科系	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院	4週	0週
	麻酔科	030613	岡山済生会総合病院	8週	0週
選択 科目	内科	030613 031897 031894 189014	岡山済生会総合病院 心臓病センター榊原病院 赤磐医師会病院 岡山済生会外来センター病院	32週	0週
	外科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	救急科	030613 030624	岡山済生会総合病院 津山中央病院		
	麻酔科	030613	岡山済生会総合病院		
	小児科	030613 031881 189014	岡山済生会総合病院 旭川荘療育・医療センター 岡山済生会外来センター病院		
	産婦人科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	精神科	030616 030619 030618 031892 189014	慈圭病院 岡山大学病院 岡山県精神科医療センター 河田病院 岡山済生会外来センター病院		
	皮膚科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	泌尿器科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	整形外科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	形成外科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	眼科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	耳鼻咽喉科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	脳神経外科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	放射線科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	緩和ケア	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		
	リハビリテーション科	030613 189014	岡山済生会総合病院 岡山済生会外来センター病院		

病理	030613	岡山済生会総合病院
地域医療	060035 040035 031889 060036 034657 034515 031894 040032 070042 031911 0210588	美作市立大原病院 真庭市国民健康保険湯原温泉病院 備前市国民健康保険市立備前病院 済生会吉備病院 鏡野町国民健康保険病院 哲西町診療所 医療法人清梁会高梁中央病院 岡村一心堂病院 矢掛町国民健康保険病院 金田病院 岩手県済生会岩泉病院
地域保健	033094 033095	岡山市保健所 岡山県赤十字血液センター

備考：

- ・ 基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 88 週。※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
 - ・ 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週。※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
 - ・ 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 30 回
 - ・ 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週 ※但し、4 週を上限とする
 - ・ 一般外来の研修を行う診療科・・・内科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること。
- ①研修が開始される 1 年目の 4 月に全員を対象としてオリエンテーションを 1 週間行い、その後、基本研修科目が始まる。
 - ②皮膚系疾患、運動器系疾患、生殖器疾患、眼・視覚系疾患、および耳鼻・咽喉・口腔系疾患など経験が求められる疾患・病態の研修は、内科研修中に各科で短期間の外来研修を行うことがある。
 - ③ 内科および外科研修では、緩和ケア病棟での研修も含まれる。
 - ④小児科研修は、旭川荘療育・医療センターで数日～1 か月間行う場合がある。
 - ⑤精神科研修の 1 ヶ月間は協力病院である河田病院、岡山県精神科医療センター、岡山大学病院、慈圭病院のいずれかで研修を行う。また、希望すれば 1 か月のうち数日間を岡山県精神保健福祉センターで行うことがある。
 - ⑥地域医療の研修は、数施設と日程を調整して行う。
 - ⑦選択科目は、複数の科を自由に選択することができるが、科の受け入れ人数によっては調整する場合がある。
 - ⑧基本・必修研修のうち研修が不十分であった科の再研修については選択科目のなかで検討する。
 - ⑨臨床病理検討会（CPC）は岡山済生会総合病院で開催する。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030613	臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号 0306137	臨床研修病院群名：岡山済生会総合病院群

6. 研修スケジュール (一年次、二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030613902

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1		(No. 1)													
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	13~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週	
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5													
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3													
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3											
岡山済生会総合病院 (030613)	リエンターション	1	1												
岡山済生会外来センター 病院 (189014)		0	0												
岡山済生会総合病院 (030613)	内科		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
岡山済生会外来センター 病院 (189014)			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
岡山済生会総合病院 (030613)	外科														
岡山済生会外来センター 病院 (189014)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
岡山済生会総合病院 (030613)	外科系														
岡山済生会外来センター 病院 (189014)					1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
岡山済生会総合病院 (030613)	救急	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
岡山済生会総合病院 (030613)	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

* 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

6. 研修管理委員会（令和3年度開催回数2回）

構成員の氏名等

病院施設番号： 030613

臨床研修病院の名称： 岡山済生会総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ シオデ ジュンジ 姓 塩出 名 純二	岡山済生会総合病院	院長	臨床研修管理委員長、指導医（内科）
フリガナ フジオカ シンイチ 姓 藤岡 名 真一	岡山済生会総合病院	副院長	臨床研修管理副委員長、指導医（内科）
フリガナ ナス ジュンイチロウ 那須 淳一郎	岡山済生会総合病院	診療部長	プログラム責任者（プログラム 2021、2022）、指導医（内科）
フリガナ モトキ タカユキ 元木 崇之	岡山済生会総合病院	診療部長	副プログラム責任者（プログラム 2021、2022）、指導医（外科）
フリガナ スギヤマ ヒロキ 杉山 洋樹	岡山済生会総合病院	内科主任医長	副プログラム責任者（プログラム 2011、2022）、指導医（内科）
フリガナ ノザキ サトシ 野崎 哲	岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（救急科）
フリガナ ナンバ ケンジ 姓 難波 名 研二	岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（麻酔科）
フリガナ ヒラノ ユキオ 姓 平野 名 由紀夫	岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（産婦人科）
フリガナ キタムラ テツロウ 姓 喜多村 名 哲朗	岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（小児科）
フリガナ ノセ ソウイチロウ 姓 能勢 名 聡一郎	岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（病理） カンファレンス担当責任者
フリガナ ハヤシ マサミチ 姓 林 名 正典	岡山済生会総合病院	統括部長	指導医（整形外科）
フリガナ カタオカ マサフミ	岡山済生会総合病院	副院長	指導医（外科）

姓 片岡	名 正文			
フリガナ サカイ レイコ		岡山済生会総合病院	診療部長	指導医（心療科・神経科）
坂井	玲子			
フリガナ ミカミ ヨシミ		岡山済生会総合病院	看護部長	
姓 三上	由美			
フリガナ カワカミ ヤスヒロ		岡山済生会総合病院	薬剤部長	
姓 川上	名 恭弘			
フリガナ キムラ ヤスハル		岡山済生会総合病院	中央検査科技師長	
姓 木村	名 泰治			
フリガナ センダ シゲキ		支部岡山県済生会支部事務局総務部	部長	
姓 千田	名 茂樹			
フリガナ オオタ ヨリコ		支部岡山県済生会支部事務局人事部	次長	
姓 太田	名 偉子			

6. 研修管理委員会の構成員の氏名等 病院施設番号： 030613 臨床研修病院の名称： 岡山済生会総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ サカキバラ タカシ 姓 榊原 名 敬	心臓病センター榊原病院	院長	研修実施責任者 指導医（外科）
フリガナ ヒロハタ アツシ 廣畑 敦	心臓病センター榊原病院	副院長	研修実施責任者 指導医（内科）
フリガナ オカ タケフミ 岡 岳文	津山中央病院	副院長	研修実施責任者 指導医（救急科）
フリガナ カワダ トシアキ 姓 河田 名 敏明	（財）河田病院	院長	研修実施責任者 指導医（精神科）
フリガナ イシズ ヒデキ 姓 石津 名 秀樹	（財）慈圭病院	副院長	研修実施責任者 指導医（精神科）
フリガナ ヤマダ ノリヒト 姓 山田 名 了士	岡山大学病院	精神科神経科教授	研修実施責任者 指導医（精神科）
フリガナ コダマ マサフミ 姓 児玉 名 匡史	岡山県精神科医療センター	医療部長	研修実施責任者 指導医（精神科）
フリガナ サトウ アツヒコ 姓 佐藤 名 敦彦	赤磐医師会病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ トダ ケイスケ 姓 戸田 名 圭介	医療法人清梁会高梁中央病院	外科部長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ モリヤマ ヒロシ 姓 森山 名 洋	鏡野町国民健康保険病院	内科医長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ シオジ ヤスノブ 姓 塩路 名 康信	美作市立大原病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ オカ コウイチ 姓 岡 名 孝一	真庭市国民健康保険湯原温泉病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）

6. 研修管理委員会の構成員の氏名等 病院施設番号： 030613 臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ミツオカ シンタロウ 姓 光岡 名 晋太郎	備前市国民健康保険市立備前病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ ナンバ ヨウイチロウ 姓 難波 名 洋一郎	済生会吉備病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ マサキ ユウジ 姓 正木 名 裕児	岡村一心堂病院	副院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ 姓 ?? 名 ??	備前市国民健康保険市立日生病院	??	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ ムラカミ マサカズ 姓 村上 名 正和	矢掛町国民健康保険病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ ノグチ マサユキ 姓 野口 名 正行	岡山県精神保健福祉センター	所長	研修実施責任者 指導医（精神科）
フリガナ カンザキ ススム 姓 神崎 名 晋	旭川荘療育・医療センター	院長	研修実施責任者 指導医（小児科）
フリガナ ドイ コウジ 姓 土井 名 浩二	哲西町診療所	医師	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ イケダ カズマ 姓 池田 名 和真	岡山県赤十字血液センター	所長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ マツオカ ヒロアキ 姓 松岡 名 宏明	岡山市保健所	所長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ ミズシマ タカアキ 姓 水島 名 孝明	金田病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）
フリガナ シバノ ヨシヒロ 姓 柴野 名 良博	岩手県済生会岩泉病院	院長	研修実施責任者 指導医（地域医療）

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	シオデ ジュンジ 塩出 純二	岡山済生会 総合病院	院長	43	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医、第20回医学教育者のためのワークショップ修了、平成16年度プログラム責任者養成講習会修了	030613901,030613902 岡山済生会総合病院卒後臨床研修プログラム2021.岡山済生会総合病院卒後臨床研修プログラム2022	4
放射線科	トガミ イズミ 戸上 泉	岡山済生会 総合病院	副院長	38	○	日本医学放射線学会診断専門医、検診マンモグラフィ読影医、第7回日本核医学会春季大会PET研修セミナー修了、放射線取扱主任者定期講習修了、第18回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
外科	ニグマ タケフミ 仁熊 健文	岡山済生会 総合病院	副院長	35	○	日本外科学会指導医・認定医・専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医(消化器・一般外科 腹腔鏡下尾側膵切除(脾臓合併切除))、第2回岡山大学医学部附属病院卒後臨床教育を考えるワークショップ修了、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
外科	カタオカ マサフミ 片岡 正文	岡山済生会 総合病院	副院長	35	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、検診マンモグラフィ読影医、日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療認定医、呼吸器外科専門医合同委員会専門医、日本麻酔科学会認定医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、日本食道学会認定医・専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、岡山県緩和ケア研修会修了、第2回岡山大学医学部附属病院卒後臨床教育を考えるワークショップ修了	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	フジオカ シンイチ 藤岡 真一	岡山済生会 総合病院	副院長	32	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医、日本肝臓学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、第2回岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了、平成23年度プログラム責任者養成講習会修了	同上	3、4
内科	ヤマムラ マサヒロ 山村 昌弘	岡山済生会 総合病院	診療顧問	40	○	日本内科学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リウマチ財団登録医、日本アレルギー学会専門医、日本老年医学会老年病専門医・指導医、第3回医学部教育教育研修ワークショップ修了、第25回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
外科	アカザイ ヨシヒロ 赤在 義浩	岡山済生会 総合病院	診療顧問	38	○	日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医、四病院団体協議会H16年度臨床研修指導医養成課程講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
整形外科	ハヤシ マサミチ 林 正典	岡山済生会 総合病院	特任副院長	37	○	日本整形外科学会専門医・スポーツ医、日本リハビリテーション学会臨床認定医、第6回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
麻酔科	ミズカワ シュンイチ 水川 俊一	岡山済生会 総合病院	診療部長	42	○	日本麻酔科学会専門医・指導医・認定医、日本集中治療医学会専門医、第6回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
病理	ノセ ソウイチロウ 能勢 聡一郎	岡山済生会 総合病院	診療部長	38	○	日本病理学会認定医・指導医、日本臨床検査医学会臨床検査管理医、第6回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
内科	ヨシオカ マサオ 吉岡 正雄	岡山済生会 総合病院	診療部長	37	○	日本内科学会指導医・専門医・認定内科医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症認定医、日本カプセル内視鏡学会認定医・指導医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了、日本静脈経腸栄養学会中国地区TNT研修会修了	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
麻酔科	モノベ ヨウコ 物部 容子	岡山済生会 総合病院	診療部長	37		日本麻酔科学会認定医・専門医・指導医、日本医師会認定健康スポーツ医	同上	4
産婦人科	ヒラノ ユキオ 平野 由紀夫	岡山済生会 総合病院	診療部長	36	○	日本産科婦人科学会指導医・専門医・認定医、母体保護法指定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、日本産婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、第7回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
外科	タカハタ タカオミ 高畑 隆臣	岡山済生会 総合病院	診療部長	35	○	日本外科学会認定医・専門医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
内科	コンドウ ジュン 近藤 淳	岡山済生会 総合病院	診療部長	34	○	日本内科学会指導医・認定内科医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
放射線科	ヤスイ コウタロウ 安井 光太郎	岡山済生会 総合病院	診療部長	34	○	日本医学放射線学会診断専門医、日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医、日本核医学会認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、日本医師会指導医のための教育ワークショップ修了	同上	4
小児科	キタムラ テツロウ 喜多村 哲朗	岡山済生会 総合病院	診療部長	34		日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医	同上	4
緩和ケア	イシハラ タツヒコ 石原 辰彦	岡山済生会 総合病院	診療部長	33	○	日本内科学会認定内科医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本緩和医療学会暫定指導医、日本緩和医療学会教育セミナーEPEC-O修了	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
外科	キムラ トシカズ 木村 臣一	岡山済生会 総合病院	診療部長	33	○	日本外科学会指導医・専門医・認定医、日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医・消化器がん外科治療認定医、日本消化器内視鏡学会指導医・専門医・認定医、日本麻酔科学会標榜医、日本内視鏡外科学会技術認定医、第2回全国済生会指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
放射線科	イシハラ セツコ 石原 節子	岡山済生会 総合病院	診療部長	33	○	日本医学放射線学会放射線科診断専門医、検診マンモグラフィ読影医、日本乳癌学会認定医・乳腺専門医、日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」修了	同上	4
整形外科	カワカミ ユキオ 川上 幸雄	岡山済生会 総合病院	診療部長	32	○	日本整形外科学会専門医・認定スポーツ医・認定リウマチ医・認定脊椎脊髄病医、日本麻酔科学会認定医	同上	4
放射線科	モリト ツネハル 寺都 常晴	岡山済生会 総合病院	診療部長	31	○	日本医学放射線学会専門医・指導医、日本放射線腫瘍学会認定医・専門医、検診マンモグラフィ読影医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、第11回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
内科	カワイ ハルユキ 川井 治之	岡山済生会 総合病院	診療部長	29	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本禁煙学会禁煙専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、岡山県緩和ケア研修会修了、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
眼科	ナリタ アキコ 成田 亜希子	岡山済生会 総合病院	上席診療部長	28	○	日本眼科学会指導医・専門医、日本網膜硝子体学会PDT認定医	同上	4
内科	ナス ジュンイチロウ 那須 淳一郎	岡山済生会 総合病院	診療部長	28	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医、医療研修推進財団主催ファシリテーター養成講習会修了、第7回岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了、愛媛県緩和ケア研修会修了、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了	同上	1, 4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	マルヤマ ケイスケ 丸山 啓輔	岡山済生会 総合病院	診療部長	28	○	日本内科学会認定内科医・専門医・指導医、日本腎臓学会指導医・専門医、日本透析医学会専門医、第2回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了	同上	4
内科	フジワラ アキコ 藤原 明子	岡山済生会 総合病院	診療部長	28	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医、第2回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会修了、TNT(Total Nutritional Therapy)研修修了	同上	4
内科	ワタナベ カズヒコ 渡邊 一彦	岡山済生会 総合病院	診療部長	27	○	日本内科学会認定医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会指導医・気管支鏡専門医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定産業医、インフェクションコントロールドクター、第3回岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了、医療事故・紛争対応中国・四国セミナー2011第50回臨床呼吸機能講習会	同上	4
内科	イケダ テツヤ 池田 哲也	岡山済生会 総合病院	診療部長	26	○	日本内科学会専門医、日本循環器内科学会専門医、日本医師会「指導医の為の教育ワークショップ」修了	同上	4
麻酔科	ババ ミワ 馬場 三和	岡山済生会 総合病院	診療部長	37	○	日本麻酔科学会認定医・専門医・指導医、日本ペインクリニック学会専門医、第5回全国済生会指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会	同上	4
心療科・神経科	サカイ レイコ 坂井 玲子	岡山済生会 総合病院	診療部長	36	○	日本神経学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医・指導医、日本内科学会認定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医、精神保健指定医、精神科薬物療法研修会修了、日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」修了、緩和ケア研修会修了	同上	4
内科	イシヤマ シュウヘイ 石山 修平	岡山済生会 総合病院	診療部長	27	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
麻酔科	ナンバ ケンジ 難波 研二	岡山済生会 総合病院	診療部長	28	○	日本麻酔科学会指導医・専門医、臨床研修指導医養成講習会(独立行政法人国立病院機構中国四国グループ)、緩和ケア研修会(岩国医療センター)、日本蘇生学会指導医、米国集中治療医学会FCCSコースインストラクター	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
内科	イケダ フサオ 池田 房雄	岡山済生会 総合病院	診療部長	26	○	日本内科学会認定・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・専門医、日本肝臓学会専門医・指導医、日本がん治療認定医、日本医師会認定産業医、難病指定医、インフェクションコントロールドクター、岡山県緩和ケア研修会、第9回岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会	同上	4
皮膚科	ヨシトミ エミ 吉富 恵美	岡山済生会 総合病院	診療部長	25		日本皮膚科学会専門医	同上	4
泌尿器科	クサカ ノブユキ 日下 信之	岡山済生会 総合病院	診療部長	25		泌尿器科専門医・指導医、がん治療認定医、緩和ケア研修会、泌尿器腹抗鏡認定医、日本内視鏡外科学会技術認定	同上	4
外科	モトキ タカユキ 元木 崇之	岡山済生会 総合病院	診療部長	24	○	日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医・認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	2, 4
内科	カワカミ マンリ 川上 万里	岡山済生会 総合病院	主任医長	29	○	日本内科学会認定医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」(岡山県医師会主催)修了	同上	4
救急科	タカハシ ケンジ 高橋 健治	岡山済生会 総合病院	主任医長	28		日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医、日本脊髄外科学会認定医	同上	4
救急科	ノザキ サトシ 野崎 哲	岡山済生会 総合病院	診療部長	27	○	日本内科学会認定内科医、日本救急医学会専門医、日本医師会認定産業医、第3回岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会(平成17年度津山会場)修了、平成20年度災害派遣医療チーム研修修了、脳梗塞急性期rt-PA静注療法の適正使用のための講習会修了	同上	4
内科	イトウ マモル	岡山済生会 総合病院	診療部長	25	○	日本内科学会認定医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	伊藤 守					日本ヘリコバクター学会H.Pylori(ヒロリ菌)感染症認定医、日本カプセル内視鏡学会認定医・指導医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了		
外科	マルヤマ マサノブ 丸山 昌伸	岡山済生会総合病院	診療部長	23	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器外科学会指導医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、インフェクションコントロールドクター(ICD)、岡山県緩和ケア研修会修了、第15回全国済生会指導医のためのワークショップ修了	同上	4
内科	フジイ マサクニ 藤井 雅邦	岡山済生会総合病院	主任医長	22	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本胆道学会指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
外科	オクタニ ダイスケ 奥谷 大介	岡山済生会総合病院	診療部長	23	○	日本外科学会専門医・指導医、呼吸器外科専門医合同委員会専門医、日本リハビリテーション医学会臨床医、難病指定医、JATECコース修了、平成27年度第2回「がんのリハビリテーション研修」修了、第36回全国済生会臨床研修指導医ののためのワークショップ修了、第5回全国済生会臨床研修指導医ののためのワークショップアトバンスコース修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
脳神経外科	イセダ ケイイチ 伊勢田 恵一	岡山済生会総合病院	主任医長	26		日本脳神経外科学会専門医	同上	4
小児科	ノグチ ヨシエ 野口 佳江	岡山済生会総合病院	主任医長	26	○	日本小児科学会専門医、第34回新臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
内科	イヌカイ ミチオ	岡山済生会総合病院	主任医長	24	○	日本外科学会終身認定医・専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構難病指定医、がん治療認定医、日本整	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	犬飼 道雄					認定医機構暫定教育医・がん治療認定医、日本静脈経腸栄養学会認定医、PEG・在宅医療研究会暫定認定胃瘻教育者・専門胃瘻造設者・専門胃瘻管理者、嚥下機能評価研修会修了、日本静脈経腸栄養学会TNT研修会修了、第3回救急蘇生講習会修了、JATECコース修了、四段階注射法講習会修了、H27年度(第1回)おかもやまDMAR隊員養成研修修了、臨床研修指導医講習会修了、H21年度緩		
リハビリテーション科	オクタニ タマミ 奥谷 珠美	岡山済生会総合病院	診療部長	23		日本リハビリテーション医学会専門医、指導医、義肢装具等適合判定医、身体障害者福祉法15条指定医	同上	4
外科	コジマ トオル 見島 亨	岡山済生会総合病院	主任医長	22	○	日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本循環器学会専門医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医	同上	4
内科	スギヤマ ヒロキ 杉山 洋樹	岡山済生会総合病院	主任医長	22	○	日本内科学会認定・専門医、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、日本循環器学会専門医、第36回全国済生会臨床研修指導医の為のワークショップ修了	同上	2,4
泌尿器科	ナカムラ アヤ 中村 あや	岡山済生会総合病院	主任医長	21		日本泌尿器科学会専門医・指導医	同上	4
耳鼻咽喉科	ヒライ ミサト 平井 美紗都	岡山済生会総合病院	主任医長	17	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医、日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」(岡山県医師会主催)修了	同上	4
形成外科	アヅミ ショウゴ 安積 昌吾	岡山済生会総合病院	主任医長	16	○	日本形成外科学会専門医、平成23年度中国四国ブロック臨床研修指導医養成研修会修了	同上	4
外科	オオタニ ツヨシ	岡山済生会総合病院	主任医長	20	○	日本外科学会認定医・専門医、臨床研修指導医養成講習会、緩和ケア研修会、日本消化器外科学会	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	大谷 剛					専門医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本外科学会指導医、日本内視鏡外科学		
内科	トネ アツヒロ 利根 淳仁	岡山済生会 総合病院	主任医長	21		日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医、日本糖尿病学会研修指導医	同上	4
内科	テシガワラ サナエ 勲使川原 早苗	岡山済生会 総合病院	主任医長	19		日本医師会認定産業医、日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本プライマリケア連合学会認定医、日本プライマリケア連合学会認定指導医	同上	4
内科	カワイ ダイスケ 河合 大介	岡山済生会 総合病院	主任医長	18		日本内科学会認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
整形外科	ナラサキ シンジ 檜崎 稔三	岡山済生会 総合病院	主任医長	19		日本手外科学会専門医、日本整形外科学会専門医	同上	4
産婦人科	アキサダ ミユキ 秋定 幸	岡山済生会 総合病院	医長	7		日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、	同上	4
内科	クワキ ケンジ 桑木 健志	岡山済生会 総合病院	主任医長	21	○	日本消化器病学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本肝臓学会専門医、日本肝臓学会指導医、日本超音波医学会指導医、日本超音波医学会専門医	同上	4
内科	カワキタ ノリフミ 川北 祝史	岡山済生会 総合病院	内科医長	17		日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本内科学会指導医、日本内科学会認定医、日本禁煙学会指導医、日本心臓血管麻酔科学会 日本周術期経食道心エコー (JB-POT) 認定	同上	4
耳鼻咽喉科	ノヤマ ヤスユキ 野山 和廉	岡山済生会 総合病院	医長	15	○	日本耳鼻咽喉科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医、インфекションコントロールドクター、第38回医事問題セミナー修了、アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法講習会修了、嚥下機能評価研修会修了、平成28年度岡山県医師会臨床	同上	4
内科	モモキ ノリヤ	岡山済生会 総合病院	主任医長	15	○	日本内科学会認定医・専門医、日本透析医学会専門医、日本アフェレンシス学会血漿交換療法専門	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	桃木 律也	岡山済生会総合病院				医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、日本腎臓学会専門医、BLSプロバイダーコース修了、ACLSプロバイダーコース修了、JMECCプロバイダーコース修了		
外科	ヤスハラ イサオ 安原 功	岡山済生会総合病院	医長	15	○	日本外科学会専門医、平成27年度中国四国グループ臨床研修指導医養成研修会修了、緩和ケア研修会修了	同上	4
内科	カネトウ ミツヒロ 金藤 光博	岡山済生会総合病院	医長	14		日本内科学会認定医、日本肝臓学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医	同上	4
内科	ノナカ ケイスケ 野中 慶佑	岡山済生会総合病院	医長	13		日本内科学会認定医・専門医、日本静脈経腸栄養学会東海地区TNT研修会修了	同上	4
耳鼻咽喉科	ナカイ キヨコ 中井 貴世子	岡山済生会総合病院		37			同上	4
産婦人科	ハルマ トモコ 春間 朋子	岡山済生会総合病院	医長	14		日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本婦人科腫瘍学会専門医、日本産科婦人科学会指導医、日本産科婦人科学会専門医	同上	4
小児科	カタヤマ ヒサオ 片山 寿夫	岡山済生会総合病院	医長	15	○	日本小児科学会専門医	同上	4
心療科	キタムラ ナオヤ 北村 直也	岡山済生会総合病院	診療部長	23	○	精神保健指定医、難病指定医、日本精神神経学会指導医・専門医、日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学指導医・専門医	同上	4
外科	クドウ ユリエ 工藤 由里絵	岡山済生会総合病院	医長	13		日本外科学会専門医、日本乳癌学会専門医・認定医、マンモグラフィ読影医、がんのリハビリテーション研修ワークショップ修了、緩和ケア研修会修了	同上	4
麻酔科	アカギ ヨウスケ 赤木 洋介	岡山済生会総合病院	医長	12	○	麻酔科標榜医、日本麻酔科学会認定医・専門医、日本周術期経食道心エコー認定医、FCCS(Fundamental Critical Care Support)Provider Course修了、日本静脈経腸栄養学会中国地区TNT研修会修了、JATECコース修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
緩和ケア	ツツイ テツヤ	岡山済生会総合病院	主任医長	27	○	日本外科学会認定登録医、京都府緩和ケア研修会修了、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	筒井 哲也	総合病院				修了		
内科	ニシワキ マサタケ 西脇 聖剛	岡山済生会 総合病院	医長	13		消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、 肝臓学会専門医、内科学会総合内科専門医	同上	4
内科	ミズカワ ショウ 水川 翔	岡山済生会 総合病院	医長	12		日本内科学会認定医・専門医、日本消化器病学会 専門医	同上	4
麻酔科	フシミ ミキ 伏見 美紀	岡山済生会 総合病院	医長	16		日本麻酔科学会指導医・専門医、麻酔科標榜医	同上	4
外科	タケハラ ユウコ 竹原 裕子	岡山済生会 総合病院	副医長	13		日本感染症学会ICD、日本がん治療認定医機構 がん治療認定医、日本外科学会専門医、緩和ケア 研修会修了、食育実践プランナー、日本消化器外 科学会 消化器がん外科治療認定医	同上	4
放射線科	ヌマ シンゴ 沼 真吾	岡山済生会 総合病院	医長	10		日本医学放射線学会放射線診断専門医	同上	4
外科	カジオカ ヒロユキ 梶岡 裕紀	岡山済生会 総合病院	医長	11		日本外科学会専門医、日本消化器外科学会 消化 器がん外科治療認定医、日本消化器外科学会消化 器がん外科治療認定医、日本化学療法学会抗菌化 学療法認定医、日本腹部救急医学会腹部救急認定 医	同上	4
外科	クワタ カズヤ 栗田 和也	岡山済生会 総合病院	医長	17	○	日本医師会 認定産業医・日本外科学会 専門 医・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認 定医・日本消化器外科学会 専門医・日本がん治 療認定医機構 がん治療認定医・日本消化器外科 学会 指導医・日本内視鏡外科学会 評議員・日 本外科学会 指導医	同上	4
外科	クドウ ヤスタカ 工藤 泰崇	岡山済生会 総合病院	医長	18		日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定 医・ストマ認定士・日本消化器外科学会 指導医・ 日本大腸肛門病学会 専門医・日本外科学会 専 門医・日本消化器外科学会 専門医・難病指定 医・日本腹部救急医学会 腹部救急認定医・身体 障害者福祉法15条指定医・日本外科学会 指導医	同上	4
内科	ハラダ リョウイチ 原田 亮一	岡山済生会 総合病院	副医長	8		緩和ケア研修会修了	同上	4
眼科	スギハラ ヨシエ	岡山済生会 総合病院	副医長	8			同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	杉原 佳恵	岡山済生会総合病院						
整形外科	ドイ タケン 土井 武	岡山済生会総合病院	診療部長	26		医師免許・日本整形外科学会専門医・日本骨折治療学会 評議員	同上	4
内科	キノムラ マサル 木野村 賢	岡山済生会総合病院	主任医長	22		医師免許・日本内科学会認定医・日本内科学会総合内科専門医・日本透析医学会 指導医・日本腎臓学会 専門医・日本透析医学会 専門医・日本急性血液浄化学会 認定指導者・日本医師会 認定産業医・日本腎臓学会 指導医・日本腎臓学会 評議員・日本内科医学会 中国支部評議員	同上	4
内科	フカダ ユウジ 深田 悠史	岡山済生会総合病院	医長	10		医師免許・日本内科学会 認定医	同上	4
外科	タケダ ショウ 武田 正	岡山済生会総合病院	医長	13		医師免許・検診マンモグラフィ読影医・日本外科学会 専門医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医・日本消化器外科学会 専門医・日本医師会 認定産業医	同上	4
外科	ヤギ チアキ 八木 千晶	岡山済生会総合病院	医長	10		医師免許・日本外科学会 専門医・日本消化器外科学会 消化器がん外科治療認定医・日本消化器外科学会 専門医	同上	4
整形外科	オキタ シュンジ 沖田 駿治	岡山済生会総合病院	医長	11		医師免許・日本整形外科学会 専門医・日本リウマチ学会 専門医	同上	4
麻酔科	オオクラ ヤスコ 大倉 靖子	岡山済生会総合病院	医長	13		医師免許・麻酔科標榜医・日本麻酔科学会 認定医・日本麻酔科学会 専門医	同上	4
放射線科	マルカワ ヨウヘイ 丸川 洋平	岡山済生会総合病院	医長	13		医師免許・日本核医学会 PET核医学認定医・日本医学放射線学会 放射線診断専門医・日本医学放射線学会 研修指導者	同上	4
内科	イケガミ ケン 池上 憲	岡山済生会総合病院	副医長	8		医師免許・難病指定医・日本内科学会認定医	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
病理	ハマヤ カズオ 濱家 一雄	岡山済生会 総合病院	診療顧問	55	○	日本病理学会認定医、外国人医師臨床修練指導医	同上	4
内科	イトシマ タツヤ 糸島 達也	岡山済生会 総合病院	診療顧問	53	○	日本内科学会認定医・指導医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本消化器内視鏡学会指導医・認定専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、平成16年度岡山県医師会臨床研修「地域医療・保健」指導医養成ワークショップ修了、第5回日本医師会「指導医のためのワークショップ」修了 第3回「医師臨床研修制度・研修管理委員会・委員長研修(特定研修)」修了、岡山県医師会主催「日医生涯教育講座・産業医研修会、特定健診・保健指導研修会、第1回特定健診・保健指導スキルアップ研修会」修了、かかりつけ医認知症対応力向上研修修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
産婦人科	サカグチ ユキヨシ 坂口 幸吉	岡山済生会 総合病院	診療顧問	45	○	日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医、平成27年度母体保護法指定医師研修会修了、第5回全国臨床研修指導医のためのワークショップ修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
緩和ケア	ハラ フミト 原 史人	岡山済生会 総合病院	診療顧問	46	○	日本外科学会認定登録医、呼吸器外科専門医合同委員会終身認定医、麻酔科標榜医、かかちるけ医認知症対応力向上研修修了、日本サイコロロジー学会・日本緩和医療学会協力コミュニケーション技術研修会修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
放射線科	ジョウジャ イクオ 上者 郁夫	岡山済生会 総合病院	診療顧問	45	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医	同上	4
内科	ヤマモト カズヒデ 山本 和秀	岡山済生会 総合病院	総合教育長	48	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本肝臓学会専門医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本医師会障害教育認定、第21回日本消化器内視鏡学会中国セミナー修了、TNT(Total Nutritional Therapy)研修修了	同上	4
外科	ミムラ テツシゲ	岡山済生会 総合病院	診療顧問	48	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・指導医・消化器がん外科治療	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	三村 哲重	岡山済生会総合病院				認定医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会認定医・専門医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床研修指導医養成講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了		
外科	ニシヤマ ヨシタカ 西山 宜孝	岡山済生会総合病院	診療顧問	41	○	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本乳癌学会専門医・指導医・認定医、日本消化器外科学会認定医・消化器がん外科治療認定医、検診マンモグラフィ読影医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、第14回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4
皮膚科	アラカワ ケンゾウ 荒川 謙三	岡山済生会総合病院	診療顧問	47	○	日本皮膚科学会専門医、日本がん治療認定医機構暫定教育医	同上	4
麻酔科	コバヤシ ヨウジ 小林 洋二	岡山済生会総合病院	診療顧問	46	○	日本麻酔科学会認定医・指導医・専門医、日本集中治療医学会専門医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
小児科	タナカ ヒロユキ 田中 弘之	岡山済生会総合病院	診療顧問	42	○	日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医、日本小児科学会専門医	同上	4
内科	オオサワ トシヤ 天澤 俊哉	岡山済生会総合病院		37	○	日本内科学会認定医、第3回岡山県医師会臨床研修指導医養成講習会(平成17年度津山会場)修了、岡山県緩和ケア研修会	同上	4
眼科	セグチ シロウ 瀬口 次郎	岡山済生会総合病院		41	○	日本眼科学会専門医、日本網膜硝子体学会PDT認定医、日本神経眼科学会神経眼科相談医、第2回岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
内科	ヒラマツ マコト 平松 信	岡山済生会総合病院		49	○	日本内科学会認定医・指導医、外国人医師臨床修練指導医、日本腎臓学会指導医・専門医、日本透析医学会指導医・専門医・認定医、日本老年医学会指導医・専門医、医学教育者のためのワークショップ修了、かかりつけ医うつ病対応力向上研修修了、日本医師会生涯教育制度研修修了	同上	4
内科	ハリタ シンゴ	岡山済生会総合病院		45	○	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本臨床腫瘍学会指導医、がん診療に携わる医師に	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	張田 信吾	岡山済生会総合病院				対する緩和ケア研修会		
内科	ナカトウ タツアキ 中塔 辰明	岡山済生会総合病院		32	○	日本内科学会指導医・認定内科医、日本糖尿病学会専門医・研修指導医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
内科	ウエノ アキコ 上野 明子	岡山済生会総合病院		26	○	日本内科学会認定医・専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医、第37回全国済生会臨床研修指導医の為のワークショップ	同上	4
内科	シモムラ ヤスユキ 下村 泰之	岡山済生会総合病院		14		日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医、緩和ケア講習会修了	同上	4
整形外科	イマタニ ジュンヤ 今谷 潤也	岡山済生会総合病院		34		日本整形外科学会専門医・運動器リハビリテーション医、日本手外科学会専門医	同上	4
整形外科	カシムラ イヅミ 櫻村 いづみ	岡山済生会総合病院		10		日本整形外科学会専門医	同上	4
小児科	タカタ ツトム 高田 努	岡山済生会総合病院		22	○	日本小児科学会専門医	同上	4
内科	イケダ シュウジ 池田 修二	岡山済生会総合病院		40	○	日本内科学会指導医・認定内科医、日本腎臓学会指導医・認定専門医、日本人間ドック学会認定専門医・認定医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、岡山県医師会乳がん検診担当医、平成16年度岡山済生会臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4
内科	オンベ ツネト 遠部 恒人	岡山済生会総合病院		35	○	日本透析医学会専門医、日本内科学会指導医・専門医・認定医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本人間ドック学会専門医、第10回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ修了、日本医師会認定産業医	同上	4
産婦人科	コイケ ヒロフミ	岡山済生会総合病院		35	○	日本産婦人科学会認定医・専門医、第1回川崎医科大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了	同上	4

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習 会等の受講 経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 指導医
	小池 浩文					了、乳がん検診担当医師基礎講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了		
内科	キタヤマ ヒロユキ 来山 浩之	岡山済生会 総合病院		17		難病指定医、日本プライマリ・ケア連合学会 指導医、認定医	同上	4
産婦人科	コイケ ヒロフミ 小池 浩文	岡山済生会 総合病院		35	○	日本産婦人科学会認定医・専門医、第1回川崎医科大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会修了、乳がん検診担当医師基礎講習会修了、岡山県緩和ケア研修会修了	同上	4

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院
 病院施設番号：030613

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小児科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた 必修科目の診 療科		その他の研修を行う診 療科				合 計
							産 科	婦 人 科				整 形 外 科	形 成 外 科	脳 外 科	皮 膚 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	5,643	57	2,088		542	576	()					1,126	199	130	118	2 枚目に記載
年間新外来患者数	4,635	1,096	410		649	26			0			1,298	174	80	14	2 枚目に記載
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	49.3 (365)	5.1 (365)	17.4 (365)	()	4.1 (365)	1.9 (365)	()	()	0.2 (365)	()		6.5 (365)	1.6 (365)	1.5 (365)	0.2 (365)	
平均在院日数	11.6	4.3	10.4		1.2	5.4						15.0	8.5	23.6	13.9	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医 (指導医) 数)	49 (36)	3 (3)	23 (17)	()	4 (4)	4 (3)	()	()	2 (2)	()		11 (7)	3 (1)	1 (1)	5 (3)	2 枚目に記載

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器

外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

病院施設番号： 030613

区 分	その他の研修を行う診療科									合 計
	泌尿器科	眼科	耳鼻科	リハ科	麻酔科	放射線科	緩和ケア科	病理		
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	294	1067	115				62			12,017
年間新外来患者数	7	3	5	3	0	1,019	31			9,450
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	0.7 (365)	0.2 (365)	0.5 (365)	0.4 (365)	0.1 (365)	10.2 (365)	0.5 (365)			
平均在院日数	6.4	3.9	6.1				24.7			
常勤医師数 (うち指導医数)	2 (2)	4 (3)	3 (3)	1 (1)	7 (7)	6 (6)	3 (3)	2 (2)		133 (104)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

※ 当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

(令和4年度分)							臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院							
							病院施設番号：030613							
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
岡山済生会総合病院	内科	6	9	9	10	8	8	7	8	8	8	10	9	8
岡山大学病院	内科						1							
	内科合計	6	9	9	10	8	9	7	8	8	8	10	9	8
岡山済生会総合病院	救急部門	3	3	2	4	2	2	1	2	2	1	1	2	2
岡山済生会総合病院	外科	2	3	5	2	1	1	1	1	1	2	1	2	2
岡山済生会総合病院	麻酔科	2	3	3	3	1	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	小児科	1				2	1	1	2	1	1	1	2	2
岡山済生会総合病院	精神科						2	2	1	2	2	1		
岡山済生会総合病院	産婦人科				1	2	1	2	2		1	3		1
岡山済生会総合病院	地域医療	1				2	1		1	1	2	2	1	
岡山大学病院	小児科						1							
今治済生会病院	救急科	1	1											
	選択科目合計	10	10	10	10	10	11	9	11	9	11	11	5	7

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

※ 当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

(令和5年度分)							臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院							
							病院施設番号：030613							
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
岡山済生会総合病院	内科	7	8	7	7	7	7	7	8	9	7	7	7	7
岡山大学病院	内科				1									
	内科合計	7	8	7	8	7	7	7	8	9	7	7	7	7
岡山済生会総合病院	救急部門	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	外科	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	麻酔科	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	小児科	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
岡山済生会総合病院	精神科	1		2	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1
岡山済生会総合病院	産婦人科	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	済生会合計	10	13	12	10	12	11	10	11	12	12	12	12	12
岡山大学病院		1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
川崎医科大学附属病院								1						
済生会今治病院													1	
	選択科目合計	11	1	14	14	14	14	15	14	14	14	14	14	13

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

※ 当該年度分、当該年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

(令和6年度分)							臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院							
							病院施設番号：030613							
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
岡山済生会総合病院	内科	7	14	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
岡山大学病院	内科				1									
	内科合計	7	14	7	8	7	7	7	7	7	7	7	7	7
岡山済生会総合病院	救急部門	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	外科	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	麻酔科	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院	小児科	1	1	2	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1
岡山済生会総合病院	精神科	1		1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	1
岡山済生会総合病院	産婦人科	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
岡山済生会総合病院		10		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
岡山大学病院		1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
川崎医科大学附属病院								1						
済生会今治病院													1	
	選択科目合計	11	1	14	14	14	14	15	14	14	14	14	14	13

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別様で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和4年 4月 1日

都道府県知事 殿

病院名 岡山済生会総合病院
開設者 社会福祉法人^{恩賜}済生会_{財団}
支部 岡山県済生会
支部長 山本 和秀

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号：030613

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

記入日：西暦 2022 年 4 月 1 日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030613	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称 岡山済生会総合病院群 番号 0306135
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	フリガナ 太田 氏名 (姓)	フリガナ 俤子 (名)	役職 人事課 086-252-2211 (内線 13124) (直通電話 (086) 252 — 2780) e-mail: kenshu@okayamasaiseikai.or.jp <small>(携帯電話のメールアドレスは不可とします。)</small>
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ オカヤマサセイカイソウゴウヒョウイン 岡山済生会総合病院		
2. 病院の所在地及び二次医療圏の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 700 - 8511 (岡山 都・道・府 (県)) 岡山市北区国体町 2 番 25 号 電話：(086) 252-2211 F A X：(086) 255-2780 二次医療圏 の名称： 岡山県南東部		
3. 病院の開設者の氏名 (法人の名称) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シャカイフクシホウジノオンシザイダンサセイカイ シブ オカヤマケンサセイカイ シブ チョウ ヤマト カズヒデ 社会福祉法人恩賜財団済生会 支部岡山県済生会 支部長 山本 和秀		
4. 病院の開設者の住所 (法人の主たる事務所の所在地) <small>(基幹型、協力型記入)</small>	〒 700 - 8511 (岡山 都・道・府 (県)) 岡山市北区国体町 2 番 25 号 電話：(086) 252-2211 F A X：(086) 255-2780		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ 塩出 姓	フリガナ ジュンジ 姓	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型、協力型記入)</small>	https://okayamasaiseikai.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号：030613

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：158名、非常勤（常勤換算）：4.35名 計（常勤換算）：162.35名、医療法による医師の標準員数：23.9名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦2005年2月1日、告示番号：第25号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 <input checked="" type="radio"/> 2. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	<input checked="" type="radio"/> 1. 有（282.98）m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数：18,308件（うち診療時間外：10,313件） 1日平均件数：50.2件（うち診療時間外：28.3件） 救急車取扱件数：4,292件（うち診療時間外：2,710件）
	診療時間外の勤務体制	医師：6名、看護師及び准看護師：4名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 外科系 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 小児科 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：473床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般：10.1日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数：61件、異常分娩件数：38件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績：5回、今年度見込：5回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績：14件、今年度見込：15件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） <input checked="" type="radio"/> 0. 無（住宅手当：20,000円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	<input checked="" type="radio"/> 1. 有（ 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	（106.4）m ²
	医学図書数	国内図書：5,035冊、国外図書：777冊
	医学雑誌数	国内雑誌：31種類、国外雑誌：26種類
	図書室の利用可能時間	00：00～24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無、教育用コンテンツ <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無、 その他（ ） 利用可能時間（00：00～24：00）24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030613

臨床研修病院の名称： 岡山済生会総合病院

<p>18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>病歴管理の責任者の氏名及び役職</p>	<p>ツガナ シオデ ジュンジ 氏名(姓) 塩出 (名) 純二 役職 院長、学術支援センター長</p>												
	<p>診療に関する諸記録の管理方法</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 1. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)</p>												
	<p>診療録の保存期間</p>	<p>(15) 年間保存</p>												
	<p>診療録の保存方法</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 1. 文書 <input checked="" type="radio"/> 2. 電子媒体 その他(具体的に:)</p>												
<p>19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>安全管理者の配置状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 1. 有 (1名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</p>												
	<p>安全管理部門の設置状況</p>	<p>職員：専任 (2) 名、兼任 (1) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 インシデント・アクシデントについて情報収集・調査・分析・発生部署へのフィードバックをすることで再発防止に努める。医療安全管理委員会の運営、医療安全に関する教育、研修の企画・運営</p>												
	<p>患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>患者相談窓口の責任者の氏名等： ツガナ ハラダ 千ホ 氏名(姓) 原田 (名) 千穂 役職 看護師長 対応時間 (8:30 ~ 17:15) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための指針の整備状況</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 指針の主な内容：常に医療の安全と質の確保に専念し、医療安全対策については「医療事故の予防」「再発防止」に取り組むこと</p>												
	<p>医療に係る安全管理委員会の開催状況</p>	<p>年 (12) 回 活動の主な内容：インシデント・アクシデント報告書の収集とリスク情報の把握、原因や状況の分析を行い、防止策・改善策を講じ、職員に広報・教育・勧告を行う</p>												
	<p>医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況</p>	<p>年 (29) 回 研修の主な内容：新採用者研修(多くは看護師)、2年目フォローアップ研修、医療安全セミナー、TEAM STEPPS、BLS</p>												
	<p>医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策</p>	<p>医療機関内における事故報告等の整備： <input checked="" type="radio"/> 1. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： RCA分析やKYTを行っている。</p>												
<p>20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<p>修了： 12 名 中断： 0 名</p>												
<p>21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)</p>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	12	11	11	2 年	12	11	12
	前々年度	前年度	当該年度											
1 年	12	11	11											
2 年	12	11	12											
<p>22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出</p>	<p>許可病床数 (473) 床 ÷ 10 = (47.3) 名</p>												
	<p>患者数から算出</p>	<p>年間入院患者数 (12,362) 人 ÷ 100 = (123.62) 名</p>												
<p>23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。</p>		<p>○ 派遣実績 募集定員加算 名 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領25を参照) ○ 地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 ・ 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。</p>												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：030613

臨床研修病院の名称：岡山済生会総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

<p>29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)</p>	<p>概要：* 別紙3に記入 (作成年月日：西暦 2022 年 4 月 1 日)</p>																										
<p>30. プログラム責任者の氏名等(副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入)</p> <p>* プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入</p>	<p>(プログラム責任者) ツガナ ナス ジュンイチロウ 氏名(姓) 那須 氏名(姓) 淳一郎</p> <p>所属 役職 内科 診療部長</p> <p>(副プログラム責任者) ① 有 (名) 0. 無</p>																										
<p>31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入)</p> <p>すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。</p>	<p>* 別紙4に記入</p>																										
<p>32. インターネットを用いた評価システム</p>	<p>① 有 (・EPOC ・その他 ()) 0. 無</p>																										
<p>33. 研修開始時期 (基幹型記入)</p>	<p>西暦 2022 年 4 月 1 日</p>																										
<p>34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)</p>	<p>1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。</p> <p>② 病院独自の処遇とする。</p> <p>① 常勤 2. 非常勤</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> <p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (260,000 円) 賞与/年 (200,000 円)</p> </td> <td style="width: 50%; border-bottom: 1px dashed black;"> <p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (280,000 円) 賞与/年 (300,000 円)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>時間外手当：① 有 0. 無 休日手当：① 有 0. 無</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>勤務時間 基本的な勤務時間(平日 8:30~17:15) 24時間表記 (土曜日 8:30~12:30)</p> <p>時間外勤務の有無：① 有 0. 無</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>休暇 有給休暇(1年次：10日、2年次：14日) 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇(具体的に：)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>当直 回数(約 2,3回/月)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>研修医の宿舍(再掲) 1. 有(単身用： 戸、世帯用： 戸) ② 無(住宅手当：20,000円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に別けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small></p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>研修医室(再掲) ① 有 (2 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small></p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>社会保険・労働保険 公的医療保険(政府管掌健康保険) 公的年金保険(厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ② 無) 雇用保険 ① 有 0. 無</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>健康管理 健康診断(年 2回) その他(具体的に：)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>医師賠償責任保険の扱い 病院において加入 ① する 0. しない 個人加入(1. 強制 ② 任意)</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> <p>外部の研修活動 学会、研究会等への参加 ① 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：① 有 0. 無</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>35. 研修医手帳 (基幹型記入)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>① 有 0. 無</p> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>36. 連携状況 (基幹型記入)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>* 様式6に記入</p> </td> </tr> </table>	<p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (260,000 円) 賞与/年 (200,000 円)</p>	<p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (280,000 円) 賞与/年 (300,000 円)</p>	<p>時間外手当：① 有 0. 無 休日手当：① 有 0. 無</p>		<p>勤務時間 基本的な勤務時間(平日 8:30~17:15) 24時間表記 (土曜日 8:30~12:30)</p> <p>時間外勤務の有無：① 有 0. 無</p>		<p>休暇 有給休暇(1年次：10日、2年次：14日) 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇(具体的に：)</p>		<p>当直 回数(約 2,3回/月)</p>		<p>研修医の宿舍(再掲) 1. 有(単身用： 戸、世帯用： 戸) ② 無(住宅手当：20,000円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に別けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small></p>		<p>研修医室(再掲) ① 有 (2 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small></p>		<p>社会保険・労働保険 公的医療保険(政府管掌健康保険) 公的年金保険(厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ② 無) 雇用保険 ① 有 0. 無</p>		<p>健康管理 健康診断(年 2回) その他(具体的に：)</p>		<p>医師賠償責任保険の扱い 病院において加入 ① する 0. しない 個人加入(1. 強制 ② 任意)</p>		<p>外部の研修活動 学会、研究会等への参加 ① 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：① 有 0. 無</p>		<p>35. 研修医手帳 (基幹型記入)</p>	<p>① 有 0. 無</p>	<p>36. 連携状況 (基幹型記入)</p>	<p>* 様式6に記入</p>
<p>研修手当</p> <p>一年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (260,000 円) 賞与/年 (200,000 円)</p>	<p>二年次の支給額(税込み) 基本手当/月 (280,000 円) 賞与/年 (300,000 円)</p>																										
<p>時間外手当：① 有 0. 無 休日手当：① 有 0. 無</p>																											
<p>勤務時間 基本的な勤務時間(平日 8:30~17:15) 24時間表記 (土曜日 8:30~12:30)</p> <p>時間外勤務の有無：① 有 0. 無</p>																											
<p>休暇 有給休暇(1年次：10日、2年次：14日) 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇(具体的に：)</p>																											
<p>当直 回数(約 2,3回/月)</p>																											
<p>研修医の宿舍(再掲) 1. 有(単身用： 戸、世帯用： 戸) ② 無(住宅手当：20,000円) <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に別けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small></p>																											
<p>研修医室(再掲) ① 有 (2 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small></p>																											
<p>社会保険・労働保険 公的医療保険(政府管掌健康保険) 公的年金保険(厚生年金保険) 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無)、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ② 無) 雇用保険 ① 有 0. 無</p>																											
<p>健康管理 健康診断(年 2回) その他(具体的に：)</p>																											
<p>医師賠償責任保険の扱い 病院において加入 ① する 0. しない 個人加入(1. 強制 ② 任意)</p>																											
<p>外部の研修活動 学会、研究会等への参加 ① 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：① 有 0. 無</p>																											
<p>35. 研修医手帳 (基幹型記入)</p>	<p>① 有 0. 無</p>																										
<p>36. 連携状況 (基幹型記入)</p>	<p>* 様式6に記入</p>																										

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること)。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない)。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうち来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について
- (1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

- こと。
- (2) 「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3) 「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1) 「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2) 「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1) 「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2) 「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1) 「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1) 「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2) 「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3) 「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数+報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。